

# OUCH!

## 今月のトピック...

- ・ オートコンプリート
- ・ Cc:とBcc:の使い分け
- ・ メーリングリスト
- ・ 感情的なメールとプライバシー

## 電子メール利用時の注意事項

### はじめに

現代社会において電子メール（以下：メール）は、公私共にコミュニケーション手段として欠かせないものになりました。しかしながら、そのメールによって問題が発生することも少なくありません。今月号では、メールを利用する上で犯しやすいミスについて説明し、そのミスを避けるための注意点について解説します。

### ゲストエディター

エリック・コール博士 (@driccole) は、SANS Technology Institute (STI) とSANS の活動に深く関わっている人物で、コースマテリアルの開発と維持に携わっています。氏はSANSのフェローであり、コース作成者でもあります。さらにサイバーセキュリティ分野における最も先進的なコンサルティングを提供している業界リーダーでもあります。

### オートコンプリート

オートコンプリートは、最近のメールクライアントの標準機能となっています。この機能は、メールの宛先を数文字入力するだけで、メールクライアントソフトが自動的に送信者のアドレス候補を表示してくれる機能です。この機能によって、相手のメールアドレスを覚える必要がなく、先頭の数文字を覚えていればメールが送信できます。このオートコンプリート機能の問題は、連絡先に同じような名前が存在する場合に発生します。それは、オートコンプリートによって間違ったメールアドレスを選択することです。例えば、所属部署の予算に関する書類を会計部門の「FRED SMITH」に送信しようとしている場合、オートコンプリート機能が、会社とは関係ない「FRED JOHNSON」を選択してしまう可能性があります。つまり、機密情報に関係のない第三者に送信してしまうことになります。このようなミスを避けるために、「送信ボタン」をクリックする前に必ずメールの宛先を再確認するようにしましょう。

### Cc / Bcc

通常のメールクライアントでは、「To」を指定する以外にも「Cc」や「Bcc」を設定できます。「Cc」は「カーボンコピー」の略で、Ccに指定した宛先には常に情報共有したい場合に利用します。「Bcc」は「ブラインドカーボンコピー」の略で、Ccと似ていますが、Bccに指定された宛先は他人から見ることはできません。CcもBccも使い方によってはトラブルになります。Ccが含まれているメールを受信した場合、あなたは送信者にのみ返信するか、全ての人に返信するかを選択することができます。返信の内容を他人に知られたくない場合には、返信の宛先は送信者のみにする必要があります。「全員に返信」を選んではいけません。このオプションは宛先に含まれる全ての人に返信したい場合に選択するものです。Bccで起こるトラブルは異なります。重要情報を送信する際に、

## 電子メール利用時の注意事項

密かに第三者（例えば上司など）に情報を共有するとします。しかしながら、上司がBccされていることに気が付かず、「全員に返信」を使って返信すると、送信者にしか返信できないため、この上司はCcではなくBccされていたことに初めて気がつくというものです。

### メーリングリスト／配信リスト

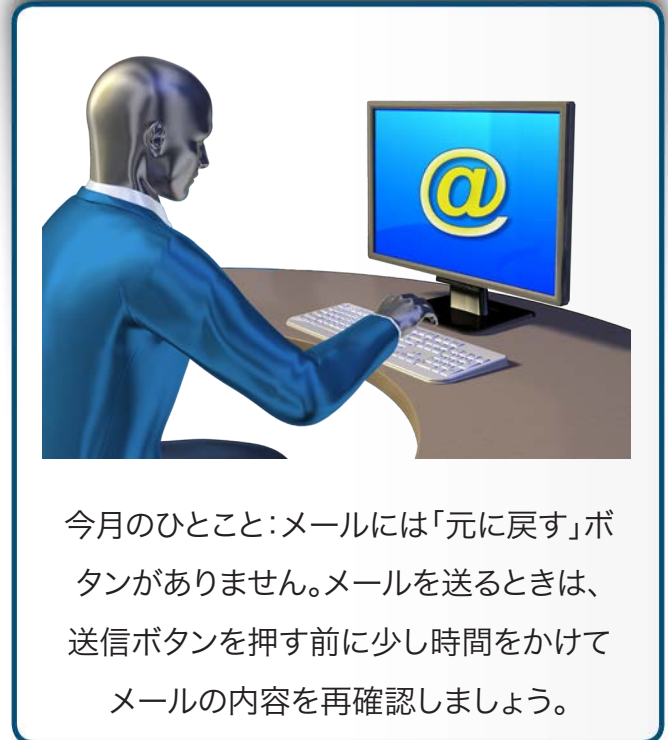
メーリングリストは、一見すると1つのメールアドレスですが、複数のメールアドレスがグループ化されています。例えば、GROUP@EXAMPLE.COMのように部署毎のメーリングリストがあります。このアドレスにメールを送信すると、グループ内のメールアドレス全てに送信されます。このグループは、数十名の場合もあれば数千人の場合もあります。メーリングリストでは、多数の人へメールが送信されるため、内容には十分に注意しましょう。また、メーリングリストに返信する際にも注意が必要です。送信者個人に返信するつもりが、「全員に返信」を誤って選択すると、メーリングリスト全体に返信し、個人的な返信内容が多数の人に読まれることとなります。さらに、オートコンプリート機能がメーリングリストを選択してしまう場合もあります。CARL@EXAMPLE.COMへ個人的なメールを送信するつもりであったのに、オートコンプリート機能によって、車に関するメーリングリストを選択してしまう可能性もあります。

### 感情的になっている場合

感情的になっている状態でメールを送信してはいけません。感情が高ぶった状態で書いたメールによって友情が壊れたり仕事を失ったりする状態にまで発展する可能性があります。少し時間をかけて頭を冷やし考えをまとめましょう。ストレスを発散させる必要があればメールクライアントを開いて、宛先が空欄であることを確認しておきます。その上で思いのたけを書いてください。その後コンピュータを一度閉じて離席し、お茶を一杯飲みましょう。席に戻ったら、メールを削除して最初から書き直します。そんな時間がなければ送信者に直接電話することをお勧めします。メールだけでは伝えにくいことも伝えることができます。

### プライバシーの問題

最後に、プライバシーの問題です。従来から利用されているメールの仕組み自体にはプライバシーを保護する機能はほとんどありません。メールはアクセスが可能であれば誰でも読むことができます。また、電話や直接の対話



今月のひとこと：メールには「元に戻す」ボタンがありません。メールを送るときは、送信ボタンを押す前に少し時間をかけてメールの内容を再確認しましょう。

## 電子メール利用時の注意事項

と異なり、メールは送信するとコントロールができなくなります。受信者から第三者へ転送されたり、公開フォーラムに投稿されたりと、インターネット上に永久に残る可能性があります。プライベートな内容をやりとりする場合には、電話を利用しましょう。また、多くの国では、メールは法的証拠として認められています。最後に、会社から支給されているコンピュータでメールを送信する場合、会社側はメールのやりとりを監視し内容を検閲する権利があります。このルールは会社のコンピュータを使って個人的なメールアカウントにアクセスしている場合に適用されることもあります。業務中のメール利用におけるプライバシーについて疑問がある場合には、上司に確認するとよいでしょう。

### 詳しくは

毎月発行のセキュリティウェアネスニュースレター「OUCH!」をご活用ください。また、OUCH!のアーカイブで過去のトピックも参照できます。詳しくは、SANSセキュリティウェアネスソリューションのサイトをご覧ください。

<http://www.securingthehuman.org>

### 日本語版翻訳チーム

日本語版翻訳 - NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

NRIセキュアテクノロジーズは、国内最大の情報セキュリティ専門企業です。マネージドセキュリティサービス、コンサルティング、ソフトウェアソリューションの提供を通じて、情報セキュリティのあらゆる視点からお客様をサポートします。

<http://www.nri-secure.co.jp>

### リソース

OUCH! フィッシングメール攻撃: <http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#february2013>  
OUCH! スピアフィッシングメール: <http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#july2013>  
セキュリティ用語集: <http://www.securingthehuman.org/resources/security-terms>

OUCH!はSANS Securing The Human プログラムによって発行され、[Creative Commons BY-NC-ND 3.0 license](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/)に従って配布されます。このニュースレターを再配布し、もしくは啓発資料としてご利用いただけますが、コンテンツの変更は認められません。翻訳その他に関しては、[ouch@securingthehuman.org](mailto:ouch@securingthehuman.org) までお問合せください

**Editorial Board:** Bill Wyman, Walt Scrivens, Phil Hoffman, Bob Rudis

**Translated By:** 坂 恵理子, 関取 嘉浩